

APEX Flex on Demand

APEX Flex On Demandでは、常に化するビジネスをサポートするために必要なテクノロジーを使用する際に、実際の使用量に基づいて支払うことができます。*

今日の急速に変化するビジネス環境では、オンデマンドで利用できるITソリューションへの需要が高まっています。可用性を確保するために、多くの組織が余分な容量を前もって購入し、使用しないテクノロジーに対しても支払いを行うリスクを負っています。このようなオーバープロビジョニングに予算が割かれることで、他の重要なプロジェクトに資金を投入できなくなるリスクが生じます。

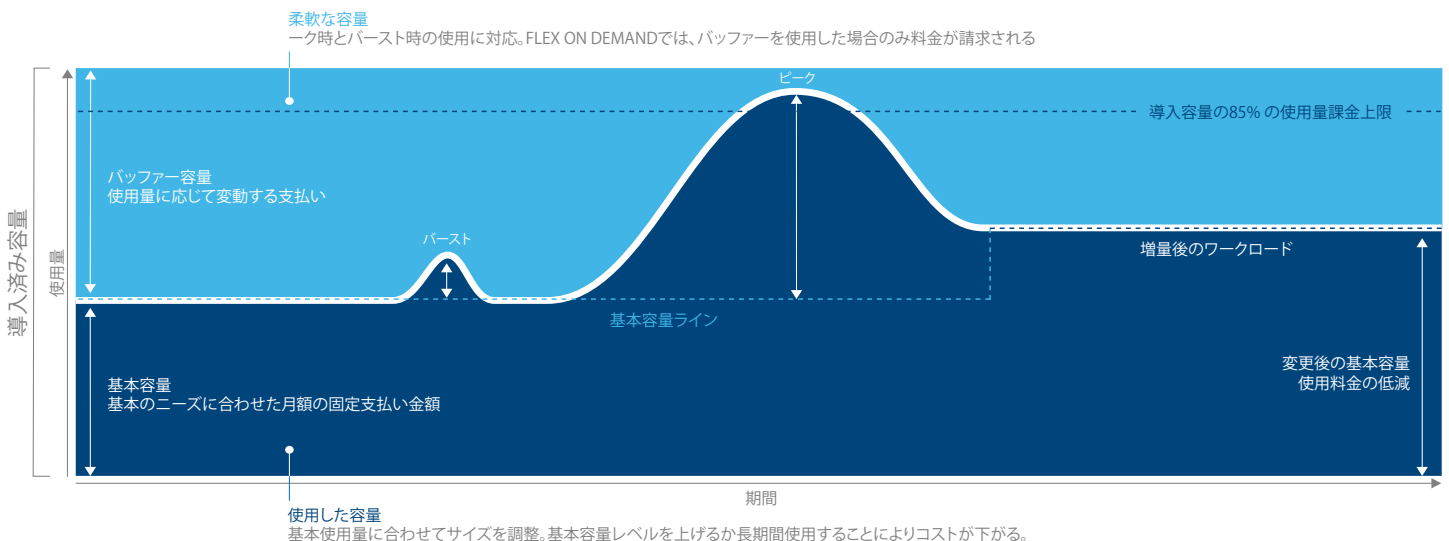
Flex On Demandでは、時間の経過とともに増減するお客様のワークロードに対応するよう、当社がお客様と協力して適切な容量サイズを柔軟に提供します。使った分のテクノロジーのみに対して支払いながら、バッファ容量が必要になった場合にはすぐにアクセスできます。支払金額は、実際の使用量に応じて増減が調整されます。

Flex On Demandは、PowerStore、PowerMax、PowerFlex、PowerScaleおよびECSストレージ、PowerEdgeサーバー、VxBlockと VxRack CI、一部のHCIソリューション、PowerProtect DDおよびPowerProtect DPデータ保護アプライアンスで利用できます。

APEX Flex on Demandは、導入容量の85%の使用量で毎月の請求を制限することで、お客様にさらに安心してご利用いただけます。

Flex On Demandの仕組み

1. テクノロジーを選択します。お客様のニーズに対応するハードウェア、ソフトウェア、およびサービスを特定します。
2. お支払を予測可能にします。ご要望の構成をシンプルなお支払いストラクチャで、また導入容量の85%の使用量課金上限により、使用量が変動しても、お支払を予算化し、予測可能にします。
3. 導入する容量を選択します。当社がお客様と協力して、現在必要な「固定の基本容量」と、今後必要となる「バッファ容量」を算定します。すべてのテクノロジーは、導入1日目からご利用いただけます。
4. 使用量を測定します。各支払いには、基本容量の固定料金に加え、バッファ容量の変動料金が含まれます。バッファ容量の使用量は、機器にインストールされた自動ツールを使用して、コンポーネントレベルで定期的に測定されます。
5. コスト削減を実現します。ワークロードの増加分が最初に設定した固定容量を超えたら、基本容量のレベルを上げ、長期にわたり使用をコミットすることで、使用料金がさらに低くなり、容量のコストをさらに削減できます。



		利用可能な合計容量の85%を超える使用量に対する料金は請求されない		
サーバー		ストレージ	データ保護	CI/HCI (VxRail)
プロセッ	●			
サーメモ				●
リスト		●	●	●
請求の仕組み(コンピューティング)	アクティブなノード時間			使用したRAM
請求の仕組み(ストレージ)		使用 RAW/Usable (GiB)	使用 Usable (GiB)	使用 RAW/Usable (GiB)

Flex On Demandの請求の仕組み

上の表から分かるように、実際の使用量に対する請求は、製品の種類と、計測された特定の技術の使用量に基づいて行われます。

Dell EMC PowerEdgeサーバーでは、プロセッサの使用率を測定し、使用率から算出したアクティブなノード時間に対して料金が請求されます。Configuration Collector Utility (UCC) を使用し、1時間に数回にわたりCPUの利用率を測定するIntegrated Dell Remote Access Controller (iDRAC) から、使用率のデータが収集されます。その後、このデータはアクティブなノード時間を算出するために使用されます。使用率が5%以上の場合にノードがアクティブと判定されます。

コンバージド インフラストラクチャにおいても、ストレージ容量の使用量に対する請求に加え、このアクティブなノード時間による請求方法が使用されます。






ストレージ、データ保護、コンバージド インフラストラクチャ (CI)、ハイパーコンバージド インフラストラクチャ (HCI) ソリューションでは、製品に応じ、使用したRAW容量または使用したUsable容量を測定します。RAW容量は、システム内のストレージメディアの合計容量です。Usable容量は、データ削減(圧縮および重複排除)前にシステムにデータを保存できる容量ですが、RAID保護用に割り当てられた後の容量です。RAIDの割り当ては、データロスからの保護とパフォーマンス向上のために使用されます。

デル・テクノロジーズは一部の製品に対してRAID保護用の割り当てを設定しますが、その他の製品に対してはお客様が割り当てを設定します。デル・テクノロジーズがRAID保護を設定する製品では、使用したUsable容量に対する料金が請求されます。お客様がRAID保護を設定する製品では、使用したRAW容量に対する料金が請求されます。

RAW容量およびUsable容量のデータは、1日に数回計測されます。1日あたりの平均値が算出され、その値から月あたりの平均値が算出されます。Utility Configuration Collectorはハードウェアから直接使用量を取得するため、当社による計測と請求の単位にはギガバイト (GB) ではなくギビバイト (GiB) が使用されます。この2つの計測単位は似ていますが、GiBにはストレージ デバイスが認識する実際の物理ストレージ量が反映されます。

VxRailなどのHCIソリューションの場合、使用したストレージ容量に加えてRAMも計測します。VxRailのデータはVMware vCenterから収集され、Azure Stackの使用状況のデータはAzure Stack APIを使用して収集されます。

請求プロセスの概要

- 
1. テクノロジー ソリューションのインストール
 テクノロジー ソリューションが、基本容量とバッファ容量の両方で展開されます。
- 
2. データの収集
 使用状況のデータがUtility Configuration Collectorソフトウェアにより収集されます。このソフトウェアはプリインストールされており、お使いのハードウェアに導入済みの状態になっています。
- 
3. 検証と保存
 収集された使用状況のデータは、セキュリティが確保された状態で当社のDell Financial Servicesデータベースに転送され、検証と解析の後、ファイルに保存されます。使用状況のデータはメタデータ レベルで収集されるため、詳細なデータや特定可能なデータがリスクにさらされることはありません。
- 
4. 生成とレポート
 ファイルが生成され、未加工データが請求前レポートに変換されます。請求担当により、請求前レポートの検証と確認が行われます。
- 
5. お客様の承認
 検証済みのレポートが、お客様によるダウンロードおよび確認が可能な状態になります。

23%

削減:年間の平均ストレージ運用コスト

64%

削減:計画外のアウトページによるコスト(生産性低下と売上減少を抑えることによる効果)

5%

削減:ストレージ運用コスト(スタッフの勤務時間、ロケーション、電力消費、施設費)

25%

削減:ストレージ取得コスト

92%

迅速化:新しいストレージ容量の導入時間

Flex On Demandによる実績

Flex On Demandは、効率性、生産性、およびビジネスの敏捷性を向上させることで明らかなコスト削減効果を示し、大きな価値を提供しています。

IDCによる、デル・テクノロジーズの使用量に応じた支払いモデルのビジネスバリューに関する最近の分析調査で、調査対象のお客様は、コストと時間のどちらも節約できる点が特に重要なメリットであると述べています。

たとえば、Dell EMCストレージを使用し、使用量に応じた支払いモデルに移行したお客様は、年間のストレージ運用コストを23%削減し、ストレージ取得コストを25%削減しています。また、調査対象のお客様は俊敏性に関するメリットにも言及しており、新しいストレージ容量の導入にかかる時間が92%短縮されたと述べています。

Flex On Demandのメリット



シンプル

導入1日目に現在と将来に必要なものを導入し、機器にインストールされた自動化ツールで使用量を計測します。



俊敏性

ビジネスに求められる新しいサービスリクエスト、ワークロードの変動や変化に迅速に対応し、ITの柔軟性を向上させます。



管理

ワークロード要件に応じてハードウェアとソフトウェアの構成をカスタマイズし、柔軟なリソースの使用量に対してのみ支払うことで、オーバープロビジョニングのコストを回避し、コスト管理を実現します。

詳細はこちら

デル・テクノロジーズまたはDell Financial Servicesのアカウント マネージャーにお問い合わせください。

www.delltechnologies.com/flex-on-demand

DELLTechnologies

A P E X

** Dell Financial Services (DFS)、Dell Technologiesのグループ法人(以下、DFSとあわせて「Dell」)、および/またはDellの認定ビジネスパートナーによって、法人顧客に提供される支払いソリューションです。お支払いソリューションはご利用いただける場合や国によって異なる場合があります。お支払いソリューションは予告なしに変更される場合があります。製品の可用性、適格性、与信承認、およびDellまたはDellの認定ビジネスパートナーによって提供され、承認される書類の締結を条件とします。スペインでは、ソリューションはスペインのDell Bank International d.a.c支店によって提供され、EU/EEA内の特定の国およびイギリスとスイスではDell Bank International d.a.cによって提供され、アイルランドの中央銀行によって規制されているDell Financial Servicesとして取引されています。Dell Technologies、Dell EMC、およびDellのロゴはDell Inc.の登録商標です。

**ストレージ製品、データ保護製品、およびVxRailでFlex on Demandが利用可能です。ダーク サイト、測定ツールが展開されていない環境、および契約条件に準拠していないお客様は対象外です。
1 出典:2020年4月、デル・テクノロジーズが主催するIDCホワイトペーパー「APEXカスタムソリューションのビジネス価値:ストレージの使用量ベースの消費モデルに関する研究」。